

10月25日

# 宮山首長の選挙支援



徹底追及

統一協会

新田知事（正面前列左端）を歓迎する、ひつめ県議（右端）＝10月18日、富山県議会

18日、富山県議会

有権者における国民党員の

報告は全国」とされる富山県でも、反社会的カルト集団の統一協会が政界へ根深く侵食しています。富山県、富山市で選舉支援までうがる態勢を見ました。（山本健一）

県知事と県都の市長がそれぞれ、新人で当選した直近の首選選挙で統一協会の選舉支援を取扱っていたことが、今年7月以降の知事や富山市長の記者会見、地元報道で明らかに出てきました。協会が富山政界に侵食している特徴の一つです。

新田八朗知事は、無所属新人で出馬した一年前の知事選で自由、公明、国民推進の現職に6万票以上の差で勝利。投票依頼の電話かけ、後援会の名簿集めなどで協会関連団体の協力を得ていました。新田知事も候補者として、「JAP」と発言。これに全国報

団体関係者の前で選舉演説。

当初、演説の回数を3回だと公表していましたが、10月3日の知事会見で4回だったと改めました。

元県議で自由、公明、立憲、国民党の推薦を受け昨年の富山市長選に勝利した藤井裕久市長。維新の地元幹部の新人候補のを破った裏で、後援会の勧説活動など協会の支援を受けていたことを公表しました。

## 異例の行動

統一協会との関係が明らかになつた全国の首長の中で、新田知事の言動は異例です。7月20日の定例会見で、新田八朗知事は、無所属新人で出馬した一年前の知事選で自由、公明、国民推進の現職に6万票以上の差で勝利。

田知事は協会関係者の集会に招かれ演説するなどの選舉支援を受けた件を「ありがとうございました」と述べました。

新田知事も候補者として、「JAP」と発言。これに全国報

感應法対策弁護士連絡会（全国弁連）が「強烈衝撃」を受けたとしての月6日、全国の知事の中で新田知事のみに協会の関連団体との関係の説明なしを申し入れる事態になりました。

新田知事は、9月12日の県議会で、県内にも信者がいることなどを理由に「知事としては『関係を断つ』という発言はできない」と答へて回答する及び腰でした。

## 共産党追及

16日の県議会一般質問で日本共産党県議団（ひづめ弘子、津本さみねの2氏）のひづめ県議が新田知事をただしました。全国弁連の申し入れの受け止めを聞かれた知事は「理解が違う」と回答。統一協会との関係についても「コンプライアンス上、問題のある団体とは付き合わない」と繰り返し、断絶を明言しないままです。

「問われているのは、宗教に名を借りた反社会的団体にどういった態度を取るかだ」とひづめ県議。質問直後に富山市で開かれた県、富山市西革新県主催の学習会（9月18日）では「知事と統一協会の間の金錢、人脈のつながりの有無も含めて断固解明に取り組む」と決意を語りました。